

第 37 回 安田女子大学・安田女子短期大学 エッセイコンクール

課題部門 テーマ：夢を持って生きるということ

優良賞「小さな夢の積み重ねが大きな夢を実現する」

心理学部 ビジネス心理学科 2 年 1 組 勝本彩加

夢とはなにか。

夢とは希望であると私は考える。将来の夢は何かと聞かれ、具体的な夢を語れる人はごく僅かな人しかいないのではないか。これは、私たちが恵まれているからだ。ある程度の生活水準を満たしており、不自由なく暮らすことのできる私たちは、「夢」は凄く大きくて立派なもののように感じるだろう。しかし、夢とは希望であり、自分が望むものが夢なのだ。難しく考えすぎず 1 つの目標として夢を持つことで、モチベーションになり、日々の生活が意味のあるものになるのではないかと思う。

小さなことでも夢として自分の中に持ち、1 つずつ叶えていくことができれば、自分にとって大きなものを得られると考える。私たちには、たくさんの挑戦する機会がある。しかし世界には、夢を持っても挑戦する機会さえ奪われている人たちが多くいるだろう。それなのに私たちは、挑戦する機会を幾度となく逃している。

日本は、比較的治安が良い国だといえる。また、文化も豊富であり、有形無形の文化資産に触れることもできる。私たちは夢を見ることが可能な恵まれた環境で生活することができている。しかし、発展途上国の女の子だった場合は、私たちの生活とかけ離れたとても厳しく、苦しい生活を送っている。女の子は生活のほとんどの時間が家事にまわってしまい、勉強する時間はなく、暴力・人身売買の標的になることが多々ある。また、男尊女卑の考えがいまだに強く根付いているため、女の子は学校に行けなかったり、仕事を探すことができないなど夢を持つきっかけになり得る経験をする機会もほとんどないのである。最悪、大人になることすら難しい場合もある。生きていく上での全ての選択権がないともいえる発展途上国の女の子たちが持つ希望とは、私たちが当たり前に行っている生きること、学校に行くこと、自分のしたいことを選択できることなのではないか。日本には、そのような環境で生活する子供たちに希望を与える活動をする人や団体が多く存在する。

山下明博教授の国際協力 B の授業で、NPO 法人 DEARME が行っている活動の動画を見た。NPO とは、非営利での社会貢献活動や慈善活動を行う市民団体である。DEARME は、若い女性達中心で活動しており、「生まれた環境に左右されず、誰もが夢を描き努力できる公平な社会を」という目標を掲げて活動している。具体的な活動としては、フィリピンやマニラでファッションスクールを開講したり、スラム街で暮らす子供たちがモデルになるファッションショーを開催するなど、世界の子供たちの希望になる活動を行っているのである。

動画は、ファッションショーの準備から当日までを追ったものであった。彼女たちは、言

語の壁や文化の壁を乗り越え大成功を取っていた。ファッションショーを見に来た地域の人々もとても良い表情をしていた。そして何より、モデルとして参加している子供たちの表情がキラキラしていたことが印象に残っている。新たなものに挑戦することを知り、楽しさを感じただろう。これがきっかけとなり、モデルが夢となった子供たち、新たな夢ができた子供たちもいるのではないか。彼女たちの「生まれた環境に左右されず、誰もが夢を描き努力できる公平な社会を」という希望、夢が子供たちの希望、夢に繋がっているのである。

自分の夢を実現することが、他の誰かが夢を持つきっかけになれば、とても素敵だなと思う。難しいことのように感じるが、ほとんどが誰かの夢を持つきっかけになり得る職業に就いているといえる。たとえば、先生になるという夢を持ち、未来の子供たちに勉強を教えることは、子供たちが様々な知識を得て夢を持つことのきっかけになるだろう。また、素敵な先生に出会うこと、先生という職業に触れることで、先生に憧れを持ち、先生になることが夢となる子供たちも多くいるだろう。DEARMEのように貧困問題を解決したいという夢であれば、活動を通して貧困で苦しむ人々の希望となり、その人たちが夢を持ち挑戦するきっかけにもなり得るのではないかと考える。このようにして、誰かの夢が実現することはまた他の誰かが夢を持つきっかけになっているといえる。

夢を持つことが世界中の人々との繋がりを生み出し、どこかの誰かに希望を与えることができると思う。私も誰かの希望となり、夢を持つきっかけを与えることができる人になりたいと思う。そのためには、自分が恵まれているのだということを理解し、感謝する。そして、自分に与えられた機会を逃さないよう、挑戦してみたいと思ったものには躊躇せず、まず挑戦してみることが重要だと考える。「先生になる」や「貧困問題を解決する」などの大きな夢でなくても、小さなことでも挑戦してみることで、自分の興味あること、してみたいことが明確になってくるだろう。そのようにして自分の希望から夢を持ち、目標にして日々を有意義に過ごすことができれば、自分のためにも人のためにもなる生き方ができると考える。